

総会を終えて

副会長 小林 純子



2017年度の総会は5月20日、赤坂見附に近い（株）レンタルのニッケンの会議室をお借りして開催された。参加者93名(含む委任状)である。

2016年6月に一般社団法人になって、一年を経たことになる。

始めに高橋志保彦会長の挨拶があり、この一年間の活動と今からの方向についてお話があった。

主な内容は、一般社団法人としての組織体制の強化と、2020年のオリンピック、パラリンピックに向けての社会性のある発信、さらに、防災、災害に対するトイレの研究の拡大等に関することが中心であったが、加えて、海外のトイレ協会の仲間たちとも交流を活発にしたいとの抱負もあった。

そのあと、2016年の活動報告、収支報告、監査報告があり、その後、2017年の活動予定、収支予定が報告された。活動の中には、昨年から山本耕平副会長を中心に繰り広げられているグッドトイレ推進運動があり、その日はその一環である、シンボルマーク募集等の中間説明が、上野義雪審査委員長からあった。

応募総数は341点で優れた作品が多く、関心の高まりが感じられた。

今後はそのマークを、おもてなしトイレの基準に合致しているとの自己申告により、OKとなれば、各自でトイレに貼ってもらうことになる。

その後、役員の新任者と退任者の紹介があった。

飯嶋守監事退任のため、中森秀二現運営委員を新監事に、中森運営委員の後任として、岡元英佑氏が新運営委員に推薦され了承された。

休憩をはさんで、上野義雪前千葉工業大学教授より「サニタリー空間の人間工学～実験に拘って44年」との講演会が行われた。

トイレ機器や必要寸法に対しての研究は、プライバシーとの関係で、かなり難しい面を持っている。そんな中、研究室での現物モデルを作ったの検証実験は、メーカーの主張と食い違う面も持ち、作りやすさ、コストに傾きがちな意見への異論、提案ともなる。とても刺激的な時間となった。上野先生の研究をぜひ多くの方が手に取れるような一般書にしてほしいものだと感じた。

最後は、交流会があり、ビールで乾杯し、久しぶりの会員相互の話でにぎやかで楽しい、時間を過ごすことができた。



一般社団法人 日本トイレ協会 2017年度総会経過



高橋会長開会挨拶

司会 浅井佐知子運営委員

- 1 日時 2017年5月20日(土) 13:30 ~15:45
- 2 会場 (株)レンタルのニッケンBF会議室
- 3 出席者 42名 委任状51名 計93名
(定款によりえ5/22現在 会員数170名 過半数につき総会成立)
- 4 議長選出 鎌田副会長
- 5 議事

高橋会長挨拶要旨 一般社団法人となって初の記念総会、昨年度は会員の皆様のご協力によりさまざまな分野で充実した活動を展開出来た。今年もそれらの成果を踏まえ、社会への貢献を念頭に更に発展させて行きたい。皆様の全面的な支援をお願いしたい。

(1) 第1号議案 2016年度活動報告

総括 高橋会長

第32回トイレシンポジウム 山本副会長

グッドトイレ選奨 小林副会長

問い合わせ対応 佐竹事務局長

HP活動 金子運営委員

グッドトイレ推進運動 山本副会長

トイレ文化研究会 木内運営委員

ノーマライゼーション研究会 川内運営委員

メンテナンス研究会 中森運営委員

以上を満場一致で承認した。



開会前の会場

(2) 第2号議案 2016年度 収支報告 収支処理案 監査報告

① 収支報告 佐竹事務局長

法人化以前の任意団体 2016.4.1~6.8

法人化以後の一般社団法人 2016.6.9 ~ 2017年3月31日まで

二段に分けて説明 2017年3月31日現在の繰越残高 ¥3,340,582円を承認した。

② 収支処理案 高橋会長

当期末収支残額 ¥3,340,582円を次期繰越金として処理する提案に対して満場一致で承認した。

③ 監査報告 飯嶋監事

任意団体と一般社団法人の二段に亘る会計監査の結果、適法かつ正確であることを認めた旨報告があり、満場一致で承認した。

(3) 第3号議案 2017年度活動予定

総括 高橋会長

第33回トイレシンポジウム 山本副会長

HP活動 金子運営委員

グッドトイレ推進運動 山本副会長

トイレ文化研究会 木内運営委員

ノーマライゼーション研究会 川内運営委員

メンテナンス研究会 中森運営委員

以上満場一致で承認した。

(4) 第4号議案 2017年度予算案 佐竹事務局長

収入見込 ¥5,508,000円 支出見込 ¥5,430,000円を満場一致で承認した。

(5) 監事の選任

監事の飯嶋守氏が一身上のご都合で退任を申し出ておられましたので、定款の定めにより議長が諮ったところ、会長一任の声あり、高橋会長が飯嶋氏の後任に運営委員の「中森秀二氏」を推薦する旨、提言があり、満場一致で新監事に「中森秀二氏」を選任した。

なお任期は定款により飯島前監事の残任期間である2020年総会終結の時までとした。

また中森氏の後任の運営委員については去る5月8日の運営委員会で法人会員「無臭元工業㈱」の岡元英祐氏が選出されていることを報告した。

飯嶋氏、中森氏、岡元氏からそれぞれ退任、新任の挨拶を受けた。

以上2017年度総会は終了した。

▼ 講演会（15時～16時45分）



講演の様子

講師 上野義雪氏（運営委員、前千葉工業大学教授）

テーマ 「サニタリー空間の人間工学～実験にこだわって44年」

100画面超のパワーポイントを駆使しての44年間の地味な研究の成果を丁寧かつ分かりやすい説明に、参加者は終始真剣に聴講した。トイレ自体だけではなく、周辺機材にも気配りが必要であること、メーカーは本当に使用する立場に徹しているのかなど、鋭い問題提起もされた素晴らしい内容であった。

終了後の質問も絶えることなく続き上野先生の回答だけではなく、関連して参加者も次々と発言を求めるなど、いままでに経験しなかった高揚した雰囲気の中に終了した。

▼ 交流会（17時～18時30分）

司会 谷本運営委員 参加者31名

高橋会長の挨拶 松田運営委員の乾杯によりスタート。広島、大阪、前橋など遠方から駆けつけて頂いた方、新しく会員となられた方などを交え和気藹藹のうちに、お互いの親睦を深めた。締めは小林副会長のリードで恒例の「アロハオエ」を手を繋ぎ輪になって合唱し、大きな盛り上がりのうちに閉会した。



アロハオエ大合唱



平成 29 年 5 月 20 日（土）、平成 29 年度総会が開催された。高橋会長のご配慮により、総会終了後の講演会において、これまでに行ってきたトイレの人間工学について講演をする機会をいただいた。講演内容を 103 枚のスライドにまとめ、「人間は食べることにはこだわるが、出すことには無頓着・・・」をサブタイトルとしてお話をさせていただいた。

講演でお伝えしたかったことは、細々と長期間に渡り便器の機能性などについて人間工学の応用により実験研究をしていた変わり者がいたことである。

講演後の質疑では、多くの会員の方から幅広いご意見を頂いた。人は誰しもがトイレについて多くを語りたい強い願望を持っておられることを再確認できた講演会であった。

ご出席の皆様方には心より感謝を申し上げる。

その後、佐竹事務局長から講演概要を協会ニュースに掲載したい旨の依頼をいただき、当日使用のスライドに手を加え、会員の皆様にお伝えをさせていただくことにした。（運営委員 前千葉工業大学教授）

<p>1</p> <h3>物づくりの実情</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使う側になりきれない 作る側 真のものづくりが成されているか ・ 多機能化 軽量化 小型化 コストダウンが粗悪品を ・ 売れる製品はよいか ・ 売れない製品はよくないか よい製品とは何を言うか ・ 息の長い製品と短い製品 ・ 選び方の重要性 ・ 多すぎる社内評価のできないメーカー 多くの企業から相談 ・ 「技術」は「偽術」であってはならない ・ 無責任な「知らないで物づくり」 ・ 水回りだけは そうあってほしくない <p>建築、インテリア、人間工学に関わる実験研究を通して分かったこと。</p>	<p>2</p> <h3>デザインとは</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常に新しいものを作れという無茶な企業トップ <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デザインとは <u>問題解決</u>の手段である <p style="text-align: center;">↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デザインとは 問題を解決するために、思考・概念の組み立てを行い、様々な媒体に応じて表現すること <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">即ち作ること</p> <p>デザインとは、作ることが目的ではない筈、しかし現実？</p>
<p>3</p> <h3>トイレ機能の目標到達割合は？</h3> <p>今後は太文字機能の向上が不可欠</p>	<p>4</p> <h3>なぜ少ない 機能的な衛生設備</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者の身体条件、排泄動作に適合する設備は心地よい排泄を可能とする ・ 機能的な衛生設備があつてこそ、本来のトイレ空間を構成できる ・ トイレ空間の設計は、単なる衛生設備の配置であつてよいか

5

物づくりにおける不十分な三教育

- ① 教育機関：不十分な教育で卒業生が社会へ
専門基礎教育の不足
- ② 企業内教育：意外に知らずに物づくり
作ることが目的
- ③ 消費者教育：選び方も使い方も知らずに購入
→ 間違った使い方

資源のない日本、これからは何で勝負をするか：
 ・ 知恵と工夫
 ・ そのために知識と経験が

6

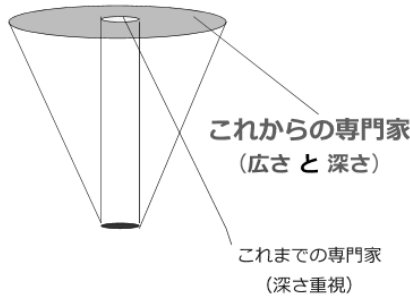
教育と日常生活の充実に 人間工学の応用が役立つ

人間工学の実践で得られる3要素

1. みること 観察力 洞察力
見る 観る (目的をもって観る) 看る 診る
視る
 - ① 気がつく → 知覚できる
 - ② → 気が利く → 配慮ができる
 - ③ → 行動ができる
 2. 比べてみる 比較する
 3. 疑問をもつ ?マークを
- 実験屋からみた人間工学応用のものづくりで得られたもの

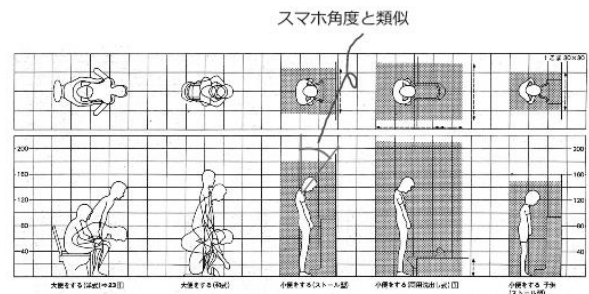
7

これからの専門家 確かな物づくりと手応えのある物づくりに



これからのものづくりの専門家に必要な専門性

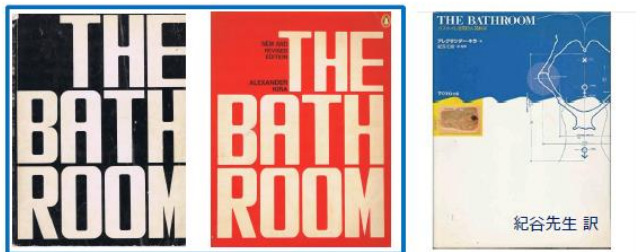
8



『建築設計資料集成』日本建築学会編
作図は全て3次元の実験写真から描き起こしたもの

9

水回り研究のバイブル



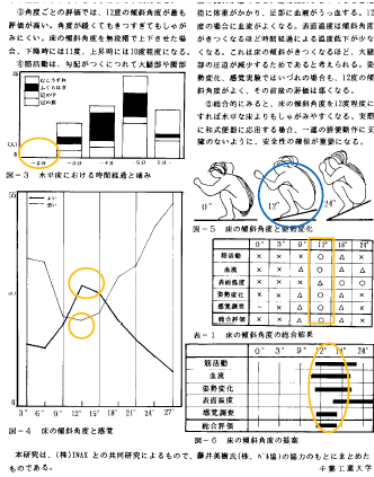
10

トイレの人間工学にこだわりを持った 研究者 多くは片手間の研究者 評価されない研究分野



29

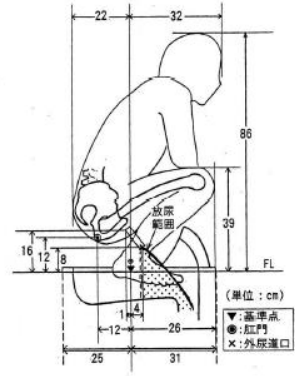
しゃがみ式便器



しゃがみ易い床勾配

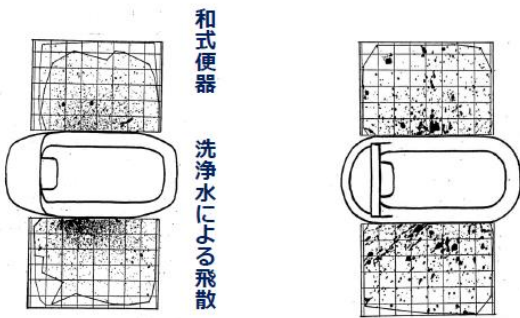
30

和式便器における男子の排尿



被験者は上野

31



使用者による飛散ではなく便器自体による飛散

32



33



34

水栓金具の人間工学



レバー式混合水栓金具の操作方向：「下げ出し → 上げ出し」にステレオタイプでは下げ出しが

水栓金具にデザイン性が活かされる時代に



5月20日に開催されました（一社）日本トイレ協会の総会で、監事に選任されました中森です。昨年、前任者から協会の理事（現運営委員）を引継いだばかりの身には、今回の監事就任は身に余る大役で戸惑うばかりです。

前任監事の飯島様は、衛生設備機器工業会・温水洗浄便座協議会（現一般社団法人日本レストルーム工業会）の専務理事を務められた方で、団体の運営・会計などにも精通された方でした。一方、私の方はこういった方面には全くの素人で、メーカーで商品企画・開発や事業部門での職務に主に携わってきた経験しかありません。とはいえ拝命した以上は、役務を全うできますよう努めてまいりたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、日本トイレ協会は昨年、一般社団法人へと移行した訳ですが、これによって協会の運営は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」という法律に則った運営が不可欠になります。団体としての社会的信用は向上するものの、一方では社会的責任も大きくなった訳です。

調べてみますと同法律には、第九十九条から第百六条にわたって監事の権限や義務についての条文があります。これまで会計監査をするのが監事の役割とと思っていましたが、とんでもないことで、理事による不正行為は無いかの確認や、総会議案や資料に定款や法律等に対して違反が無いか確認し、報告する義務なども記載されている訳です。つまり、この法律に定められている内容は言うに及ばず、商法など他の法律にも精通していないと本来は務まるものでは無い事が分かりました。「しまった！簡単に引き受けるんじゃないかった！！」と思うものの、時すでに遅しで、総会で議決されてしまっているという次第です。

以上、愚にもつかない事を書き連ねましたが、拝命した以上、今後は監事の責任を全うすべく一般社団法人としての日本トイレ協会の活動に「目を光らせて」参りたいと思いますので、会員の皆様のより一層のご指導・ご鞭撻をお願いして就任の挨拶といたします。（株式会社 LIXIL 営業渉外室主幹）

2017年度第33回全国トイレシンポジウム概要

1 全体テーマ（仮） 誰もが楽しく歩ける「まちなかトイレ」を考えるートイレ先進都市ヨコハマからの発信

2 開催概要

期日	平成29年11月18日（土）10時～17時	
会場	横浜市旭公会堂（横浜駅から相鉄線鶴ヶ峰駅下車徒歩約7分）	横浜駅から鶴ヶ峰駅まで約15分）
	横浜市旭区鶴ヶ峰一丁目4-12 横浜市旭区総合庁舎4F	
参加費	無料（概要集は実費販売）	
主催	一般社団法人日本トイレ協会	
後援予定	経済産業省、国土交通省、国土交通省観光庁、横浜市 他関係団体	
事務局	第33回全国トイレシンポジウム実行委員会事務局 （株）ダイナックス都市環境研究所内 Tel 03-3580-8221（担当 山本、石垣）	

詳細は9月発送の協会ニュース号外でお知らせいたします。



この度、日本トイレ協会の運営委員を務めさせて頂く事になりました、無臭元工業株式会社 環境薬剤部部長 岡元 英祐(おかげん えいすけ)です。よろしくお願いいたします。弊社、以前はメンテナンス研究会のメンバーとして活動させて頂いておりましたが、昨今の日本のトイレ文化(世界に誇る)に対して、もっと役に立ちたいとの一心で、昨年トイレ協会の正会員になりました。そんな中で、日も浅いながら今回運営委員の御推薦を頂き、運営委員を務めさせて頂くこととなりました。微力ではございますが、協会の発展のために全力を尽くしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

■無臭元工業とは

弊社は、1960年創業以来、一貫して汚物の環境衛生分野でトイレに携わってきました。戦後間もないころ、汲み取りトイレに入れることで、発生するニオイを抑える『汚物処理剤 無臭元』(会社名にもなっています)を開発・販売し全国の主婦のニオイの悩みに答えてきました。また、船や、鉄道のタンク式のトイレの汚物処理についても同様のニオイの問題の解決に当たってきました。時代も変わり、トイレインフラが水洗になってからは、トイレの小便器のニオイの元になる尿石対策や、汚物の行き先である下水処理場のニオイ(硫化水素)対策などの事業を継続しています。

■私の経歴

私は1992年入社、入社以来、今日まで営業畑一本です。入社間もないころ、右も左もわからない状態でしたが、当時一番販売に力を入れていた『尿石防止剤』をなんとしても売りたいと考えた私は、勢いだけで販売にこぎつけました。販売できたのはいいのですが、お客様から頂いた仕様書に書いてある当社製品の主成分は『カルシウムアパタイト』・・・！？なんと尿石防止剤ではなく尿石を販売・・・！？していたのです。すぐさま上司とお詫びに行き事なきを得ましたが、なんとも苦い(カルシウムだけに)私とトイレの関係の始まりでした。

そこから下水処理場などの環境施設や工場の臭気対策を中心に活動し、10年ほど前からトイレタリー製品の担当としても活動するようになりました。東日本大震災時にはお客様である下水事業所が大打撃を受けている中、その復旧時の臭気対策を手がけました。また震災ごみの臭気対策にも奔走しました。現地では至る所で、また全てが何らかのニオイを発生しており、その惨状とニオイ等の環境衛生の問題の大きさに呆然とするだけでしたが、まだ我々のやるべきことがあると強く思いました。

■最後に

排泄はヒトが生きている限り、必ず行われます。国が違って、文化が違って、人が活動するところにはトイレがあり、汚物があり、必ずニオイの問題がある。日本トイレ協会様のご活動におかれましては、トイレ環境改善・文化の創出を通してトイレの価値の創造することだと私は受け止めております。私どもは培ったニオイの知見から、快適なトイレ環境を作り、これからのトイレのさらなる価値創造について、微力ではありますがお手伝いさせて頂きたいと思っております。(無臭元工業株式会社 環境薬剤部部長)

今年度から法人会員として入会いたしました「森ビル株式会社」です。どうぞ宜しくお願い致します。

【会社概要】

森ビルは、1959年設立以降不動産賃貸・管理業の他、東京港区を拠点とし「ヴァーティカル ガーデンシティ（立体緑園都市）」という都市像を掲げ 職・住・遊・商・学・憩い・文化・交流といった様々な都市機能が複合した「街づくり」を推進しています。また、「都市を創り、都市を育む」という考えのもと、「アークヒルズ」「六本木ヒルズ」「表参道ヒルズ」「虎ノ門ヒルズ」などを始めとする街づくりを手掛けてきた総合ディベロッパーです。

【事業内容】

1. 都市再開発事業
2. 不動産賃貸・管理運営事業
3. 文化・芸術・タウンマネジメント事業

【当社とトイレの関係】

当社は、オフィス、住宅、商業施設、映画館、美術館、ホテルと多用途な場所でお客さまにトイレをご利用いただいております。利用しやすく気持ちよくお使いいただくために日々社内で検討しています。近年、経年劣化している所もあり改修の必要な場所も増えてきています。安全性、清掃性、維持管理、工事の仕方等を社内で考えていますが是非、日本トイレ協会会員の専門家の皆様のご意見やご指導を伺いたいと思っておりますので宜しくお願い致します。（設計部 松長 京子）



六本木ヒルズ内の改修した手洗い
(素材により清掃性の向上)



パウダーコーナー
(お化粧しやすいように照明を配慮)

2017年7月より日本トイレ協会 法人会員として入会させて頂きました「株式会社栄光社」です。どうぞ宜しくお願い致します。今回は、弊社の概要や事業内容などをご紹介します。

■会社概要

会社名	株式会社栄光社
所在地	〒607-8141 京都市山科区東野北井ノ上町7-1
代表取締役社長	秋津博美
創業	1951年(昭和26年)12月
従業員数	70名
主な事業内容	・業務用芳香消臭剤「エフマチック」製造・販売 ・自動車用芳香消臭剤「エアースペンサー」製造・販売

■トイレに関する事業内容



弊社の二大事業のうちの一つである「エフマチック」シリーズでは芳香消臭剤のみならず、便座除菌クリーナーや小便器・洋式便器の消臭洗浄剤など、トイレに関する商品を製造・販売しています。これらの商品を通じ、トイレの「ニオイ」「ウイルス感染」「汚れ」など様々な問題を解決し、より清潔で快適なトイレ空間を提供しています。商品導入先は空港・駅、病院、ホテル、飲食店、オフィスビルなど、多岐にわたっています。

■主な商品紹介

① 香りのレンタル 「エフマチック」

快適なトイレ空間を演出するには、ニオイ対策は欠かせません。香りのレンタル「エフマチック」はファン式の芳香器で、室内に安定した爽やかな香りを広げます。香りはフレグランス系やアロマ系、消臭系など20種類以上、豊富に取り揃えています。



トイレ空間を心地よい香りで演出します。

便座除菌クリーナー 「シートクリーナー」

外出先で、誰が使用したかわからない洋式トイレの清潔さに不安を感じる人が増えています。便座除菌クリーナー「シートクリーナー」を設置すれば、トイレットペーパーに除菌液を噴きかけて、便座をサッと一拭きするだけで、簡単に便座の除菌ができます。またウイルス感染予防に役立ち、安心してトイレをご使用頂けます。



今後は会員の皆様と交流・意見交換などを積極的に行い、より良い製品づくりに生かしていきたいと存じます。また微力ながら、トイレ業界の発展にお役に立てればと考えておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。(営業部 北島 康史)

本年度7月より、日本トイレ協会法人会員として入会させて頂きました株式会社施設管理サービスです。よろしくお願いたします。

1. 会社概要

会社名	株式会社施設管理サービス
所在地	東京都墨田区本所3-15-2
創業	昭和54年4月
資本金	2,100万円
従業員数	54名
代表取締役社長	佐藤 信雄
営業種目	<input type="checkbox"/> 建物清掃及び衛生管理業務 <input type="checkbox"/> 公園・緑地等環境保全整備業務 <input type="checkbox"/> ガラスコーティング他特殊コーティング施工 <input type="checkbox"/> 一般及び産業廃棄物収集運搬業 <input type="checkbox"/> 各種スポーツ施設点検清掃 <input type="checkbox"/> 高圧温水使用特殊洗浄他清掃全般



2. 企業理念

私共は、昭和54年創業以来、維持保全業務を遂行するにあたり、宝物である先代からの大切な遺産や公共施設を現存のまま次世代へ引き継ぐ重要な責務を負った仕事であることに誇りと生き甲斐を持ってこれに当たってきました。

「重要な責務」を遂行する生き甲斐を従業員全員で共有することにより、厳しい仕事にも心をひとつにしてこれにあたり、お取引先様のご支援と信頼を得ることができ、今日にいたっております。また、安全で快適な生活環境を維持することにおいては、常に事象を「自分の場合には・・・」を想定し、「自分の家で快適な生活をおくるためには」の課題を自問自答することで、従業員一人一人が「お客様の身になって考え、行動すること」を常に心がける習慣が付き、かゆいところに手が届く「より踏み込んだサービス」を提供できると自負しております。

3. トイレ特殊洗浄及び特殊コーティング施工

10年前に他社との差別化を図るために、何か良いものは無いかと思っているところにトイレコーティングに出会いました。ちょうど提案していた案件があり、清掃内容にトイレコーティング作業を取り入れ再提案したところ興味を持っていただき弊社の採用となりました。それから仕事が広がり、今では公園・庭園・霊園・学校やスポーツ施設など数多くの導入実績を作ることができました。導入したお客様からはコーティング剤による撥水効果で、「尿石、水垢がつかなくなった」「その後の清掃が楽になった」「洗剤の使う量が減った」など、よろこびの声をいただいております。(営業部 佐藤 利治)



<ウォータージェット（高圧洗浄）工法との出会い>

当社は1969年にフジ高圧洗浄（当時の創業者の思い「富士山のように日本一の高圧洗浄業になる！」）として誕生し、まもなく創業50年を迎えようとしています。当時まだ創生期であったウォータージェット事業に着目し、主に石油化学プラントのパイプラインなどの設備や装置を、洗浄によって機能回復させる事業が中心でした。75年ごろから公団住宅で排水管の詰まりや溢れ事故が目立つようになり、その解決策として、当社は日本住宅公団（現・独立法人都市再生機構）の技術研究所と共同研究に着手し、流体力学の専門家のもとで実証実験を重ねた末、「ウォータージェットによる排水管洗浄」を確立しました。その後民間マンションの建設ラッシュもあり、ビル・マンションにおける高圧洗浄のニーズは飛躍的に高まってきました。

<技術革新で業界をリードする>

当社の基本理念は「誠実・親切・技量を持って飛躍する未来指向の集団」です。特に「技量」は大変重要と考えています。見えない配管の中で高圧洗浄の効果を最大限に引き出すためには先端から高圧水を噴射させる「ノズル」が重要であり当社では自社開発製にこだわっています。また、洗浄対象物によって圧力やノズルを選定しホースを操作する「技術者」も重要で、配管の分岐点を自在にコントロールしながら洗浄する「技量」が必要です。マスターするためには相当な時間を要しますが、国家検定産業洗浄技能士の資格取得をしながら訓練をしています。その「職人技」ともいえる洗浄方法がユニークということで、最近ではテレビで取材を受ける機会も増えてきています。

<トイレから臭いを消したい>

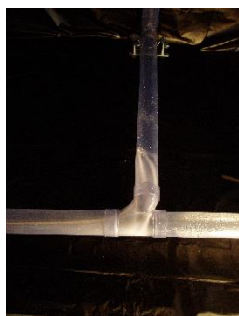
現在力をいれているのは、弱酸性の次亜塩素酸水を現場の水から生成し、洗浄だけではなく同時に除菌・消臭を行う「管洗浄プラス」です。医療機関の建物などで高いニーズがあり「かながわビジネスオーディション2013」では日本経営士会賞を受賞しました。

近年ビルメンの業界でも「尿石」による排水機能低下が問題となっています。配管内に入り込んで固着すると容易にとることができません。また、配管内で剥離した場合外部まで安全に搬送することが難しく、しかも強烈な悪臭を発生させる厄介な「汚れ」です。そこで当社の40MPa以上の超高压洗浄機を駆使し、同時に除菌消臭させる「管洗浄プラス」のニーズの高まりを実感しています。トイレ協会のみなさまの知恵を頂きながら、新しい技術革新へとつなげて行きたいと考えています。

その他、太陽光パネル洗浄ロボット「ミズフジコ」や、夏場の暑さ対策として屋外に設置し、噴霧する「ミスト噴霧冷却システム」の開発など、高圧洗浄関連技術の応用製品の開発にも力を入れています。皆様とともに、成長して参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。（営業本部 高木 和己）



除菌消臭洗浄「管洗浄プラス」



分岐点を操作する「振分け技法」



太陽光パネル洗浄機「ミズフジコ」



夏の猛暑対策に「オアシスミスト」

今年度から日本トイレ協会法人会員として入会させていただいた株式会社ソフト99コーポレーションでございます。弊社は家具用ツヤ出し剤の製造販売会社として創業し、現在ではワックス・コーティング、洗車用品、ガラス撥水剤、ワイパー、補修用品などといったクルマのお手入れ用品を製造販売しております。

(クルマをお持ちの方は「フクピカ」や「ガラコ」などの製品で弊社をご存じ頂けていれば幸いです。) 一方、近年では業務用コーティングの分野にも力を入れており、飲料系自動販売機・証明写真機・物置等の屋外の塗装物の防汚コーティングを始め、エレベーターのステンレス部分、自動ドアサッシ、看板、鏡、ガラスといった設備の防汚コーティングなどでご評価をいただけるようになりました。

これまでトイレについて大きな知見の無い弊社ですが、それでもお付き合いのある清掃現場から「美観維持」、「汚れの付着軽減」、「作業の労力・時間・コストの軽減」といったトイレのお悩みをお寄せいただくことがあり、これはまさに弊社が取り組んできたクルマを取り巻くお悩みと共通しております。

クルマで培ってきた防汚技術で、少しでもトイレ業界のお役に立てればと考えております。

1. 会社概要

会社名	株式会社ソフト99コーポレーション
所在地	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-6-5 (本社) 〒135-0062 東京都江東区東雲 2-11-12 (東京支店)
設立	1954年(昭和29年)10月
資本金	23億1,005万円
代表取締役社長	田中秀明
従業員	199名(グループ会社全体・755名)
主な事業内容	自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売



2. 事業方針

前身である「日東化学株式会社」設立以来、弊社は日本のモータリゼーションとともに発展を遂げてきました。「生活文化創造企業」を経営理念に、「未来のあたりまえを発見する」を経営ビジョンに掲げ、顧客の目線を常に意識し、相違工夫をもって、いつのまにか「あたりまえ」となるような製品・サービスを創出し続けることで、事業の拡大を目指してまいります。またグループ企業とともに、クルマだけにとどまらない新しい事業領域へ積極的にチャレンジしております。

人々に驚きや感動を与えるオンリーワン製品・高品質なサービスを提供することで、お客様の信頼と共感を得られる、存在感のある企業グループとして事業の拡大、新分野の開拓を行ってまいります。

3. 製品(代表的な防汚コーティング剤)



H-7 施設防汚用ガラスコート剤
(手垢などの固着防止)



H-8 設備用親水性ガラスコート剤
(親水化による垂れジミ防止)



ハイパービュー
(ガラスの撥水、水アカ軽減)
(新事業開発営業部 浅間洋介)

中日本ハイウェイ・メンテナンス中央株式会社は、2007年12月にNEXCO中日本グループの一員として事業を開始しました。当社は中央自動車道、長野自動車道などの高速道路を24時間365日お客さまに安全に、安心して快適にご利用いただくため、高速道路の補修、清掃、雪氷作業、事故復旧作業、災害対応などの維持修繕作業を行っています。その維持修繕作業のひとつに休憩施設であるサービスエリア・パーキングエリア（以下SA・PA）のトイレ清掃があります。

「高速道路のトイレ」と言われたらどんな印象がありますか？

当社設立時の一般的な高速道路のトイレはこれまでの公共トイレの例にもれず芳しくない評価でした。また実際にトイレを清掃しているスタッフの仕事も3K（危険、汚い、きつい）と言われており、なり手がいない状況でした。

そこで当社はSA・PAのトイレ清掃作業に社員の力と知恵を結集するために、きれい（K）・清潔（S）・臭わない（N）の頭文字を取った「K・S・N戦略」を提唱し、次の2つの目標を掲げ「世界一キレイなトイレ」を目指し積極的な取り組みを始めました。

1. 民営化されて何が変わった？トイレがキレイになった、と言われること。

2. 隠す清掃から見せる（魅せる）清掃に変えること。

当社設立時の高速道路のトイレに対する評価も「K・S・N戦略」を着実に進めることにより、現在では「高速道路のトイレはキレイ」とお客さまからお褒めのお言葉をいただけるまでに進化しました。

本タイトルの「世界一キレイなトイレを目指して」は、当社が提唱した「K・S・N戦略」のもと、掲げた目標を達成するために行ってきた種々の取り組みを紹介した書籍です。

以下に当社の取り組みの一部をご紹介します。

1. 現場に立って考える ～意識改革～

「世界一キレイなトイレ」を目指すための取り組みの一つとして、社員が自ら使用する社屋内のトイレを清掃することで清掃の大変さをSA・PAの清掃スタッフと共有しました。（社員によるトイレ清掃は現在も継続しています。）また、現地スタッフとは何度も話し合い、いろいろな角度からトイレ清掃に向き合いました。

(1) スタッフから意見の収集

現地スタッフから「生（なま）の話」を聞き出し、このような話の中からトイレ清掃に活かせるさまざまなアイデアのヒントを貰いました。



休憩施設で社員とスタッフが意見交換

(2) スタッフ同士の意見交換

スタッフ全員が参加する休憩施設美化研修を開催し意見交換をし、他のエリアで困っている事、不満に思っている事を共有することでスタッフ同士の連帯感が生まれました。

(3) 臭いの原因を解明

SA・PAが臭わないことはK・S・N戦略の中核を成しています。臭いは目に見えないため、臭いを数値として測定できる臭気測定器を使用し、全SA・PAで臭度測定を行い、臭いの発生源を探し出しました。その結果、臭いはトイレからではなく、汚水槽や浄化槽から漂っていることを突き止め、対策を講じることができました。（後述「えひめAI（アイ）」の活用）



研修でスタッフの意見を集約



臭気測定器により臭いを見る

2. 隠す清掃から見せる（魅せる）清掃へ ～ 連帯感・モチベーション向上～

「清掃」のみを行う「清掃スタッフ」から「清掃」と「おもてなし」を提供する「エリアキャスト」へと進化し、さまざまな“見せる（魅せる）”取り組みを実施し、エリアキャスト同士の連帯感や仕事へのモチベーション向上へと繋げていきました。

(1) ふさわしい制服で連帯感

「清掃スタッフ」から「エリアキャスト」へ。その第一歩として今までバラバラだった制服を、清潔感溢れるものに一新しました。また制服を決めるとき

は、エリアキャストが集まってキャスト自身が満足いく制服選びをしてもら

うことで、仕事に対するモチベーションの向上に繋がりました。



エリアキャストとして相応しい制服へ

(2) 「魅せる」キャスト

お客さまへ最高のおもてなしを提供できるよう「魅せる」キャストへと進化するために化粧品会社社員によるビューティーアップ研修を行いました。受講したエリアキャストからは、「気持ちが若返った。仕事も頑張りたい。」といった前向きな声を聞くことができました。

(3) 笑顔の練習

お客さまに満足度の高いおもてなしを提供するためには「笑顔」が不可欠です。当時発売されたばかりの笑顔を点数化する「スマイルスキャン」を導入し、笑顔の練習をしました。この練習をすることにより、お客さまと接するときには自然と満面の笑みが出るようになりました。



ビューティーアップ研修で魅せるキャストへ



スマイルスキャンで笑顔の確認

2 キレイになったと言われるトイレを目指して ～ 道具・器具の導入～

これまでの清掃方法が効率的なのか？清掃について「科学的」な目線でアプローチし、合理的な清掃方法を考え、「世界一キレイなトイレ」を目指しました。

(1) 目皿（めざら）洗浄機の導入

男性用小便器の底にある目皿はしっかり洗わないと臭いの原因となりますが、目皿は数が多く、またしゃがんで洗うため腰への負担が大きく重労働でした。そこで職場から出た意見をもとに洗浄・除菌・乾燥が一度にできる業務用食器洗浄機を導入し、目皿清掃にかけていた時間と腰への負担を軽減しました。



目皿を一気に洗浄する業務用食器洗浄機

(2) 最新式の床面洗浄機の導入

これまでの床面洗浄機は重くて大きいため小回りも効かず女性には扱いづらいものでした。そこで軽く小さい最新式の床面洗浄機を導入したことで、女性でも楽に操作ができるようになりました。



▲以前の大型床面洗浄機



▲女性でも扱いやすい小型床面洗浄

(3)「えひめ AI(アイ)」の活用



愛媛県産業技術研究所で開発された環境浄化微生物「えひめ AI」を自家製造し、便器から投入することでパイプ内のヌメリや尿石が分解され、課題となっていた汚水槽・浄化槽の臭いも低減させることができました。これにより、「K・S・N戦略」の「臭わない」が実現しました。

▲臭いの素を抑える「えひめ AI」の投入

現在では、これらの取り組みが全国の高速道路のトイレ清掃に展開され、お客さまから「高速道路のトイレはキレイになった」と言っただけのようになりました。当社は、今後もキレイなトイレを目指してK・S・N戦略をさらに進化させていきます。

(経営企画部経営企画課 井上 舞華)

大学3年の夏から1年間、ノルウェーのベルゲンと云う街に交換留学をしました。

ノルウェーはスカンジナビア半島の西側ら位置する国で、日本とほぼ同じ大きさの国土面積を持っています。私の留学したベルゲンはフィヨルドに面しており、暖流の影響により冬でも凍結しない不凍港を有することから、漁業の盛んな町としても知られています。ベルゲンはノルウェー第2の都市で、ドイツのハンザ商人の家や事務所として使われていた赤やオレンジのマッチ箱のような家が並ぶブリッゲン地区が有名です。世界遺産にも登録されていて、建物に奥行きがあるので、家の隙間を入れて行くと迷路のようになっています。週末は魚市場に地元の人や観光客で溢れ、いつも賑わっていました。

ノルウェーの魅力はやはり息を呑むほど美しい大自然です！

西海岸のほぼ全域に広がる世界最大のスケールのフィヨルドや、トロムソの空に生き物のようにうねるオーロラ、北極圏にあり人口よりも白熊生息数の多いスバルバル諸島の冰山など、素晴らしい景色を眺めることができます。

ここノルウェーで私は、国際経営論、消費者行動論、経営倫理、BtoBマーケティング、企業家先進論などの経営学を広く学び、同時に語学の勉強にも力を入れました。

勉強の傍ら、ノルウェー国内だけではなく近隣の国々にも旅行を行いました。例えばスウェーデン、フィンランド、デンマーク、チェコ、オランダ、アイルランド、スコットランドなどです。いろいろな場所でトイレを撮りましたので、その時のことを思いだしながら記事を書きたいと思います。



▼ 北欧とその周辺地域で見たトイレのピクトグラム

ノルウェーをはじめ北欧諸国では、ジェンダーフリーが進んでいるので、「男=青、女=赤」のピクトグラムが非常に少なかったのが印象的でした。男性、女性が同じ色で描かれ、イラストの形で男女の違いを表現しています。日本のピクトグラムのように小さい看板だと、北欧のように同色の場合、判別しにくいので身長 150センチ ～ 200センチくらいの人が一目で判るような巨大なイラストが多かったです。

しかし北欧を出てスコットランドまで行くと、性別を赤と青で表していました。トイレを通じ、いかに北欧のジェンダーフリーが浸透しているかが良くわかりました。



ノルウェー・トロムソのバー。カラフルな遊び心溢れるピクトグラム。

ノルウェー・ベルゲン空港のトイレ。トイレを我慢している感じが可愛い。多目的トイレも充実している



スコットランド・エジンバラ空港。大きなマークと色で遠くからでもよく目立つ

デンマーク・コペンハーゲン空港。ジェンダーを色で表さないところが印象的であった。

▼ 北欧で見た、いろいろな流すボタン



北欧の駅の多くのトイレには、このボタンが使われていた。



デンマーク・コペンハーゲン空港にて



上に引っ張るタイプ。オーロラで有名なノルウェー観光地、トロムソのバーにて



下に鎖を引くタイプ。アイルランド・ダブリンのレストランにて



シンプルでわかりやすい。ノルウェー・オスロの公立高校のトイレ。

▼ フィヨルド沿いの山小屋のトイレ



▼ 公衆トイレはほぼ有料

デパートや公衆トイレは殆どが有料（120 円ほど）でした。これはホームレスの人達が入れないようにする目的もあります。コインを入れるか、クレジットカードを挿入して決裁する方法があります。

カフェなどのトイレは、商品購入時にもらうレシートに、トイレの暗証番号が4桁で書いてあるので、それをトイレ入口に設置されている機械に打ち込むとドアが開く仕組みです。ヨーロッパの人達が来日して「トイレが綺麗で驚いた」と云う話を聞きますが正確には「誰にでも開放している公衆トイレの清掃が行き届いていて、綺麗で驚いた」が正しいのだと考えます。



スウェーデン・ストックホルムのショッピングモールのトイレ。コインを投入すると扉が開く。



ノルウエー・ベルゲンのショッピングモールにて。クレジットカードを通すと扉が開く仕組み。

▼ おわりに

ノルウエーに留学したことで日本のことを客観的に観られるようになりました。改善点も多い我が日本ですが、来日経験のあるノルウエー人たちの評価は星5つ、アメージング！だそうです。食事が美味しくて、清潔で、日差しが多くて・・・世界一幸福度の高いノルウエーの人達に褒められて嬉しく思い、益々自国に誇りを持てるようになりました。



ノルウエー・オスロの繁華街に突如現れた有料トイレ。青い光であることから、犯罪防止効果を狙っているのか。

運営委員会経過（2017年4月～7月）

■ 第1回運営委員会（4月3日〈月〉 17:30～20:10 ㈱レンタルのニッケン役員会議室）

- 議題(1) グッドトイレ推進運動について
(2) 第33回全国トイレシンポジウムについて
(3) 2016年度収支報告 2017年度予算案
(4) 2017年度総会について

■ 第2回運営委員会（5月8日〈月〉 17:30～20:30 ㈱レンタルのニッケン役員会議室）

- 議題(1) 2017年度総会について
(2) (一社)日本能率協会トイレ産業展について
(3) 運営委員補充について
(4) 内規改正について

■ 第3回運営委員会（6月5日〈月〉 17:30～19:30 ㈱レンタルのニッケン役員会議室）

- 議題(1) 2017年度総会について
(2) グッドトイレ推進運動について
(3) 第33回全国トイレシンポジウムについて
(4) リーフレット改訂について

■ 第4回運営委員会（7月3日〈月〉 17:30～19:40 ㈱レンタルのニツケン役員会議室）

- 議題(1) 運営委員会議事進行の提案
(2) 第33回全国トイレシンポジウムについて
(3) グッドトイレ推進運動進捗状況について
(4) 中国との交流について

編集後記

今回、トイレ協会ニュースを査読させて頂きました。内容の濃さに驚き、楽しく拝見させて頂きました。

特に、上野先生の『トイレ空間の人間工学』の記事は圧巻でした。私は20年前にアレキサンダーキラー著の「THE BATHROOM」を読み、排せつを科学的に研究している著書に、「世界にはこんな研究があるのか？」と驚きました。しかし、日本に、それを上回る研究の第一人者がいらっしゃるとは思いませんでした。また、留学から帰ってこられた福代梨花さんの北欧トイレ事情も楽しく拝見しました。改めて、トイレは、「国の文化の象徴」だなあと感じました。

日本には、トイレシンポジウムという誇るべきトイレの文化があります。11月18日は、横浜で皆様と真剣にトイレを語り合いたいです。皆様、横浜でお会いしましょう。（運営委員 山戸 伸孝）

一般社団法人

〒112-0003

日本トイレ協会

東京都文京区春日 1-5-3 春日タウンホーム 1F-A

JAPAN TOILET ASSOCIATION

Tel 03-5844-6123

URL:<http://www.toilet-kyoukai.jp>

e-mail:jta-jimukyoku@toilet-kyoukai.jp